

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 毎年5月
 基準日 定時株主総会 毎年2月末日
 期末配当金 毎年2月末日
 中間配当金 毎年8月末日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
 公告方法 電子公告により行います。
<http://www.unygroup-hds.com/koukoku/index.html>
 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

上場証券取引所 東京・名古屋(国内市場)
【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
【特別口座について】 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【単元未満株式の買取・買増請求について】

単元未満(1~99株)株式をご所有の株主様は、当社に対してその単元未満株式の買取(ご売却)または、「その単元未満株式数とあわせて1単元(100株)となる株式数」の買増(ご購入)を請求することが可能です。

お手続きの詳細につきましては、
 ・証券会社に口座をお持ちの株主様の場合は、お取引のある証券会社にお問合せください。
 ・証券会社に口座を開設されていない株主様の場合は、上記の株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関にお問合せください。

「株主ご優待制度」のご案内

当社では株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社開発商品をお使いいただくことにより株主様とのコミュニケーションを図る機会として、毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載又は記録された1単元(100株)以上を保有する株主様を対象に、年1回「株主ご優待」を贈呈しております。

<平成26年「株主ご優待制度」の実績>

- 平成26年2月28日現在の当社株主名簿に記載又は記録された1単元(100株)以上を保有する株主様を対象とし、「株主ご優待」としてユニグループ商品券又は当社開発商品詰め合わせを贈呈させていただきました。
- 具体的には、まず最初に「株主ご優待 商品券」を株主ご優待の対象株主様にお届けしました。次に、近隣に「株主ご優待 商品券」を使用できる店舗のない株主様や当社開発商品詰め合わせをご希望の株主様におかれましては、株主様の交換のお申込み(お送りしたすべての商品券の返送等)により同額相当分の当社開発商品「スタイルワン」「プライムワン」を詰め合わせた「株主ご優待 商品詰め合わせ」と交換させていただきます。

ご所有株式数	贈呈額	交換手続	交換申込による当社開発商品贈呈
100株以上	ユニグループ商品券 1,000円分 (1,000円券×1枚)	お送りしたすべての商品券と株主ご優待交換申込書とあわせて専用の返信用封筒により交換期日までに返送。	1,000円相当分
1,000株以上	ユニグループ商品券 3,000円分 (1,000円券×3枚)	お送りしたすべての商品券と株主ご優待交換申込書とあわせて専用の返信用封筒により交換期日までに返送。	3,000円相当分

・「株主ご優待 商品券」の発送:平成26年5月22日(当社第43回定時株主総会終結後にお届けする決議通知等に同封いたしました。)
 ・写真は、本年お届けした詰め合わせセットになります。なお、来年の内容については未定です。



ユニグループ・ホールディングス株式会社
 ホームページ <http://www.unygroup-hds.com>
 〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地
 TEL (0587) 24-8000 (代表)

株主の皆さまへ



第44期 中間報告書

平成26年3月1日から平成26年8月31日まで



ユニグループ・ホールディングス株式会社

証券コード 8270



代表取締役会長 前村 哲路

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第44期中間決算（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）のご報告をするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

さて、日本経済は、少子高齢化の進行や女性の社会進出、情報化、グローバル化という構造変化のなか、政府による前年からのいわゆるアベノミクス効果で、企業収益や雇用環境の改善傾向が続き、緩やかな景気回復基調となりましたが、4月の消費税増税や、円安等による原材料や燃料費の値上がりなど、不透明な状況で推移しました。

当社グループが属する小売業界におきましても、消費者の節約志向、同業他社や他業態との競争激化など、引き続き厳しい状況が続くものと思われま

す。このようななか、ユニーグループは、グループシナジーをさらに高め、企業価値を最大化できるよう取り組んでおります。総合小売業とコンビニエンスストアの強みを融合した独自開発商品のより一層の強化として、ユニーグループのプライベートブランド (PB)「スタイルワン」の拡充に加え、価値訴求型のPB「プライムワン」より『こだわりの贅沢』シリーズの販売を開始し、グループの開

発力を活かした品揃えの強化に注力しました。また、「サークルKフレッシュ」や「K's CAFE」の新業態開発に挑み、グループ企業価値の益々の向上に努めております。

ユニー株式会社においては、「関東プロセスセンター」を本格稼働し、関東地方および福島県・新潟県下の店舗の精肉加工作業を集約して、品質の安定化による商品力向上と集中加工による店舗作業の効率化を実施、7月よりグループ企業の株式会社99イチバが運営するミニピアゴ全店舗への商品供給も開始いたしました。多品種少量による品揃えの強化など、お客様のニーズに対応した商品の提供に努めてまいります。また、近年高まる健康志向を背景に、美味しさを追求しながらも栄養バランスやカロリーを抑えたいという、お客様のニーズを反映した「健康に配慮した食品」として、「スタイルワン」『ヘルシー』シリーズの展開を新たに開始しました。営業企画としては、ユニー初となるアピタ全店と約4,500の専門店の大規模合同企画「プライムフェスティバル (プラフェス)」を開催し、新たなロイヤルカスタマーづくりを進めました。

株式会社サークルKサンクスにおきましては、「現場力」「商品力」「改善力」を高める3つの成長戦略に取り組みました。店舗運営面では、小商圏に対応した店舗づくりを目指し、アイランドチルドケースや冷凍平台ケースの導入を継続して進め、既存店のミニスーパー化を推進しました。

株式会社さが美におきましては、業績の早期回復に取り組まれました。店舗にお客様をご招待する企画販売会が好調に推移しました。

株式会社パレモにおきましては、経営体質の改善改革をテーマに事業基盤の再構築、基幹事業の収益回復、メンバーズ会員等の顧客化推進などの諸施策に取り組まれました。

株式会社UCSにおきましては、カード会員、ショッピング取扱高および電子マネー事業の拡大やローコストオペレーションの徹底などの重点課題に取り組まれました。カード事業におきましては、電子マネー「uniko (ユニコ) カード」の取り扱いを、ユニー店舗から7月より全国のサークルK・サンクスに拡大しました。

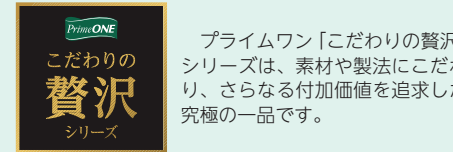
グループ連結業績につきましては、消費者の節約志向が続き、減収減益を余儀なくされました。なお、当中間期の配当につきましては、1株につき前期に比べ2円減配の10円とさせていただきます。

株主の皆さまには、引き続き一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年10月

■「プライムワン」商品開発のさらなる強化！

当社は、8月からプライムワン「こだわりの贅沢」シリーズ第2弾を全国のユニーグループ（ユニー株式会社 アピタ・ピアゴ、株式会社サークルKサンクス サークルK・サンクス、株式会社99イチバ ミニピアゴ）の店舗にて発売いたしました。



プライムワン「こだわりの贅沢」シリーズは、素材や製法にこだわり、さらなる付加価値を追求した究極の一品です。

■株式会社サークルKサンクスの新ポイントカード「+K (プラスケイ) Rポイントカード」の導入！

株式会社サークルKサンクスは、10月より楽天スーパーポイントが全国のサークルKとサンクスでも貯まる・使える「+K (プラスケイ) Rポイントカード」を導入し、楽天会員の相互送客や効果的な販促活動にも有効活用してまいります。サークルKとサンクスでお買い物の際「+K (プラスケイ) Rポイントカード」をご提示いただいた後にユニーグループの電子マネー「uniko (ユニコ) カード」でお支払いいただくと、楽天スーパーポイントとユニコポイントの両方が貯まります。

楽天スーパーポイントが貯まる! 使える! サークルK・サンクスでも貯まる! 使える! +K (プラスケイ) Rポイントカード



登録・年会費無料!!

* 楽天スーパーポイントは、楽天グループの各サービス利用で貯まる・使える・交換ができ、さらに「Rポイントカード加盟企業」のサービス利用でも貯まる・使えるポイントサービスです。
* +K (プラスケイ) のお問合せ先
+Kカスタマーセンター 0120-553-239

■「uniko (ユニコ) カード」をサークルK・サンクスで取り扱いスタート！

株式会社サークルKサンクスは、7月より、ユニーグループの電子マネー「uniko (ユニコ) カード」の利用を、全国のサークルKとサンクスにて開始しました。当カードは、お客様の利便性とさらなるお買物満足の向上を目的に、昨年11月に発行され、ユニー株式会社のアピタ・ピアゴ・ユーホーム (専門店売場除く) で利用されており、サークルKとサンクスの店舗に導入することで、既存カード会員のさらなる利便性の向上と新規会員の拡大を図り、ユニーグループ内のスーパーとコンビニエンスストアへの相互送客を目指します。



* ユニコカードでお買物をすると、200円 (税込) ごとに「ユニコポイント」が1ポイント貯まり、500ポイント貯まると500円分の電子マネーに自動で交換 (事前にお客様情報の登録が必要) できます。さらにサークルKとサンクスの店舗では、毎週土日に「ポイント2倍デー」の特典を受けることができます。アピタ・ピアゴのショッピングセンター内の専門店の一部で利用を開始し、ユニー株式会社のネット通販でも利用を開始しました (一部店舗は除く)。
* ユニコカードのお問合せ先 ユニコセンター 0570-200-470 または 0587-30-5151

■株式会社サークルKサンクスの2つの新業態店舗1号店が6月にオープン！

時間節約型のコンビニエンスストアに時間消費型のカフェ「K's CAFE」を併設した新業態店舗首都圏1号店「サンクス晴海フロント店」をオープンいたしました。また、7月に2号店として「サークルK横浜神之木町店」をオープンいたしました。今後は関東・中京を中心に展開してまいります。



コンビニエンスストアの商品・サービスに加え生鮮品 (青果・精肉・鮮魚) や店内調理の惣菜などの品揃えを強化し、今までのコンビニエンスストアにはない「メニューが見えて夕食の献立が揃う品揃え」の提案を行う新業態「サークルKフレッシュ」の1号店「サークルKフレッシュ今池南店」をオープンいたしました。今後は中京圏での展開を進めてまいります。



営業の概況 (連結)

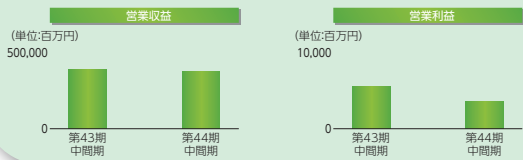
セグメント別の業績の動向

【総合小売業】

衣料品、住居関連品、食料品等の小売業

営業収益**3,772億71百万円** (前年同期比 -3.2%)
 営業利益**36億48百万円** (前年同期比 -34.8%)

総合小売業は営業収益3,772億71百万円(前年同期比3.2%減)、営業利益36億48百万円(前年同期比34.8%減)となりました。当セグメントの営業費用は、電気料金の値上がりによる水道光熱費の増加等がありましたが、「ローコスト経営」の継続に努めたことにより、3,736億23百万円(前年同期比2.7%減)となりました。

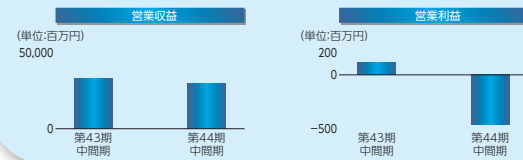


【専門店】

呉服、婦人服等の専門小売業

営業収益**300億84百万円** (前年同期比 -9.0%)
 営業損失**4億63百万円** (前年同期は営業利益1億11百万円)

専門店の営業収益は300億84百万円(前年同期比9.0%減)、営業損失4億63百万円(前年同期は営業利益1億11百万円)となりました。



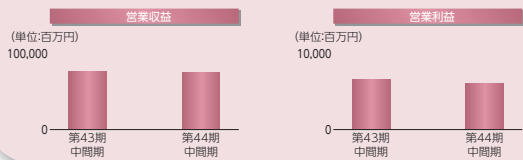
【コンビニエンスストア】

フランチャイズシステムを主とするコンビニエンスストア

営業収益**763億28百万円** (前年同期比 -0.7%)
 営業利益**61億4百万円** (前年同期比 -8.9%)

コンビニエンスストアは営業収益763億28百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益61億4百万円(前年同期比8.9%減)となりました。

当セグメントの営業費用は、広告販促関連経費の効率的な運用に取り組みましたが、店舗数増加に伴う賃借料の増加等により、702億24百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

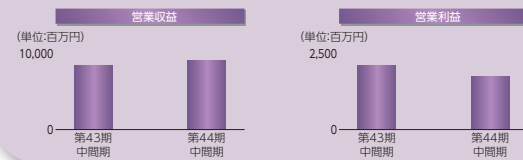


【金融】

クレジットの取扱業務等、保険代理業・リース取引

営業収益**91億15百万円** (前年同期比 +7.2%)
 営業利益**17億46百万円** (前年同期比 -17.5%)

金融の営業収益は91億15百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益17億46百万円(前年同期比17.5%減)となりました。当セグメントの営業費用は、包括信用購入あっせん及び電子マネーの取扱高の増加に伴うポイント費用や貸倒関連費用の増加により、73億68百万円(前年同期比15.4%増)となりました。



※当社は平成26年2月期より決算期を毎年2月20日から毎年2月末日に変更しております。これに伴い、当中間期(平成26年3月1日から平成26年8月31日まで)と比較対象となる前中間期(平成25年2月21日から平成25年8月20日まで)の期間が異なっております。前年同期比の表記はその期間を比較した参考値として記載しております。

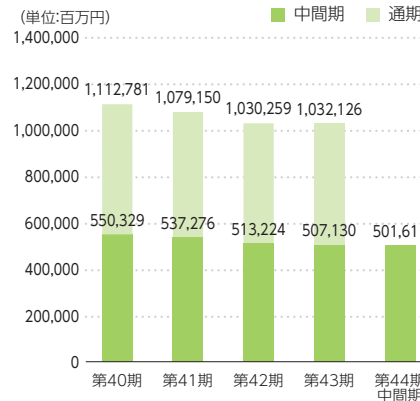
財務諸表 (連結)

中間連結貸借対照表

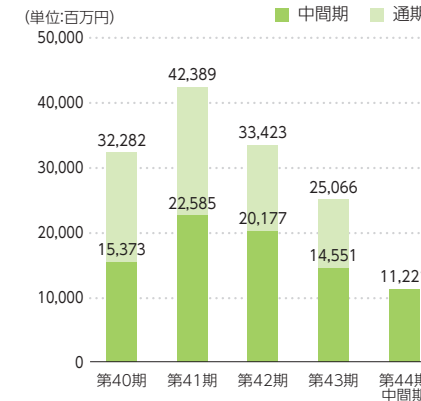
(単位:百万円)

	当上半期 平成26年8月31日現在	前上半期 平成25年8月20日現在
【資産の部】		
流動資産	274,257	202,094
固定資産	678,000	648,894
有形固定資産	495,205	465,037
無形固定資産	27,454	26,869
投資その他の資産	155,339	156,988
資産合計	952,258	850,989
【負債の部】		
流動負債	398,204	300,473
固定負債	246,217	242,529
負債合計	644,422	543,003
【純資産の部】		
株主資本	295,040	294,851
資本金	22,187	22,187
資本剰余金	70,883	70,883
利益剰余金	204,985	203,038
自己株式	△3,015	△1,258
その他の包括利益累計額	4,343	3,503
その他有価証券評価差額金	5,185	4,416
繰延ヘッジ損益	58	22
土地再評価差額金	△304	△304
為替換算調整勘定	△596	△630
少数株主持分	8,451	9,631
純資産合計	307,835	307,985
負債及び純資産合計	952,258	850,989

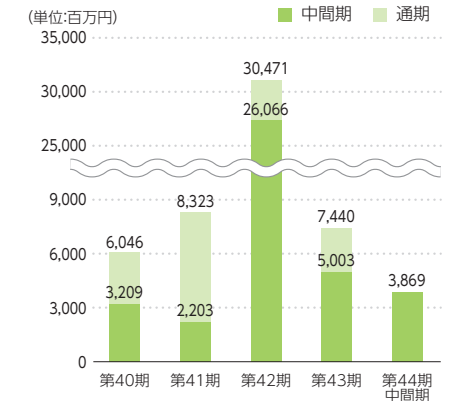
営業収益



経常利益



中間(当期)純利益



中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	当上半期 自平成26年3月1日 至平成26年8月31日	前上半期 自平成25年2月21日 至平成25年8月20日
売上高	414,735	420,895
売上原価	306,391	309,281
売上総利益	108,343	111,613
営業収入	86,876	86,234
営業総利益	195,220	197,848
販売費及び一般管理費	183,762	182,975
営業利益	11,457	14,873
営業外収益	1,660	1,759
営業外費用	1,897	2,081
経常利益	11,221	14,551
特別利益	1,315	1,373
特別損失	6,062	7,058
税金等調整前中間純利益	6,474	8,867
法人税、住民税及び事業税	3,586	5,135
法人税等調整額	△829	△1,344
少数株主損益調整前中間純利益	3,717	5,076
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△152	73
中間純利益	3,869	5,003

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当上半期 自平成26年3月1日 至平成26年8月31日	前上半期 自平成25年2月21日 至平成25年8月20日
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,731	32,840
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,044	△33,975
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,796	△5,679
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	756
現金及び現金同等物の増減額	857	△6,057
現金及び現金同等物の期首残高	54,476	7,075
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	21	-
現金及び現金同等物の中間期末残高	55,354	1,018

(注)記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

ユニー(株)新しいエコ・ファーストの約束を締結

ユニー(株)は2008年に、総合小売業で唯一エコ・ファースト企業に選ばれました。環境大臣と交わしたエコ・ファーストの約束は、2013年に地域のお客様や生産者、環境関連事業者、自治体との協働で達成することができました。

そして2014年6月、新しいエコ・ファーストの約束を交わし、さらに高い目標達成のために全社で取り組んでまいります。



北川環境副大臣とユニー(株)大野取締役

ユニー(株)夏休み自然探検隊10周年

2005年からトヨタ白川郷自然学校で夏休み自然探検隊を開催しています。

白川郷の合掌集落で先人の知恵を学び、森の中で自然に触れ、仲間作りをすることで、未来を担う子ども達に環境について、五感に響き、印象・記憶に残る環境学習を行っています。



インタープリターから森についての説明を受ける子ども達

ユニー(株)・(株)サークルKサンクスドネーション企画 東北の子ども達にプラスバンドの楽器を届けよう

東日本大震災被災地の子ども達を応援するために、協賛企業の対象商品お買い上げ1点につき1円の寄付を募り、プラスバンドの楽器を購入して贈呈しました。

2014年4月24日から5月7日までの期間に、ユニー(株)229店舗、(株)サークルKサンクス6,179店舗で実施し、345万5,413円となり、仙台市立南材木小学校と折立小学校に楽器を贈りました。

協賛企業：アサヒ飲料(株)、(株)伊藤園、エステー(株)、貝印(株)、キリンビバレッジ(株)、コカ・コーラボトラーズ(株)、サントリーフーズ(株)



演奏した子ども達と協賛企業の皆さま

ユニー(株)子ども虐待防止世界会議に出展

当社は「未来の子ども達に幸せな笑顔を贈ります」をテーマに社会貢献活動を行っています。これからの未来にすべての子ども達が幸せに生きることの出来る社会を構築したいと考え、2014年に愛知・名古屋で開催された「子ども虐待防止世界会議」に於いて、環境社会貢献の取り組みを展示いたしました。



名古屋国際会議場に展示

ユニー(株)・(株)サークルKサンクス食品リサイクル企画を実施

2014年5月に食品リサイクルループで製造されたリサイクル堆肥がまかれた水田での田植え体験に(株)サークルKサンクスの竹内社長とユニーグループ・ホールディングス(株)の百瀬執行役員が参加しました。

生産されたお米は愛知県内の一部のアピタ・ピアゴで販売されるほか、サークルK・サンクスのおにぎりなどにも使用される予定です。



(株)サークルKサンクス竹内社長と百瀬執行役員

(株)UCSがISO14001認証取得

2014年9月に、(株)UCSがISO14001を取得しました。金融・保険業界では環境負荷があまり大きくないため、取得する企業はあまり多くありませんが、企業の社会的責任の中で、環境負荷の低減と未来に向けて地球環境を保全することは大きな課題です。(株)UCSはお客様やお取引先様と一緒に環境を通して社会貢献活動を推進してまいります。



(株)UCS外山取締役と後藤社長

■ 会社の概要 (平成26年8月31日現在)

社名	ユニーグループ・ホールディングス株式会社
本店所在地	〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地 TEL (0587) 24-8000 (代表)
設立	昭和25年3月13日
資本金	22,187,865,810円
従業員数	37,732名 (連結) (パートタイマー等の期中平均特勤者数を含む)
事業内容	総合小売業、コンビニエンスストア、都市型ミニスーパー、専門店、金融サービス、サービス、ディベロッパーなど各事業を中心とした企業グループの運営企画・管理 (純粋持株会社)

■ 役員 (平成26年8月31日現在)

前村 哲路	代表取締役会長最高経営責任者 (CEO)
中村 元彦	代表取締役社長最高執行責任者 (COO)
越田 次郎	取締役専務執行役員最高財務責任者 (CFO)
梅本 稔	取締役執行役員
高橋 順	取締役執行役員
伊藤 聡	取締役執行役員
佐古 則男	取締役
竹内 修一	取締役
古角 保	取締役
加藤 倫朗	取締役
佐伯 卓	取締役
吉田 龍美	常勤監査役
伊藤 章	常勤監査役
丹下 幾夫	監査役
南谷 直毅	監査役

(注) 1. 取締役古角保、加藤倫朗、佐伯卓の3氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役丹下幾夫、南谷直毅の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
3. 当社は、取締役加藤倫朗、佐伯卓および監査役丹下幾夫、南谷直毅の4氏を東京証券取引所および名古屋証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。

執行役員

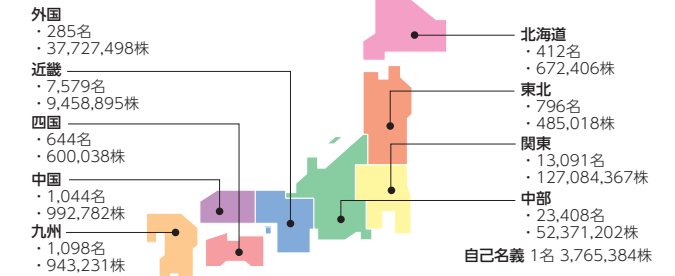
百瀬 則子 岩田 正也 中村 敏雄

■ 株式の状況 (平成26年8月31日現在)

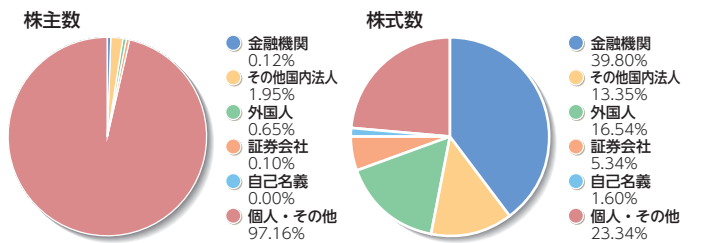
■ 株式の総数	
発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式の総数	234,100,821株
株主数	48,358名
■ 大株主 (単位:千株)	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	21,807
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	15,483
伊藤忠商事株式会社	6,992
日本生命保険相互会社	6,807
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,074
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5,403
第一生命保険株式会社	5,000
ユニー第二共栄会	4,518
BNPパリバ証券株式会社	3,805
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	3,532

(注) 当社は、自己株式3,765千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。

■ 地域別分布状況



■ 所有者別分布状況



(注) 構成比率は、小数点第3位以下を切り捨てております。